

運命を狂わせたダイヤモンドが、
女を再び輝かせる――。

ヴァンドーム広場

PLACE VENDÔME

1998年ヴェネツィア映画祭主演女優賞受賞

主演 **カトリーヌ・ドヌーヴ**

エマニュエル・セニエ / ジャン=ピエール・バクリ / ジャック・デュロン

監督◆ニコール・ガルシア 脚本◆ニコール・ガルシア / ジャック・フィエスキ

撮影◆ロラン・ダイヤモンド 美術◆ティエリー・フラマン 録音◆ジャン=ピエール・デュレ / ドミニク・エスカン 編集◆リュック・バルニエ / フランソワーズ・ボノ 音楽◆リチャード・ロビンズ 製作◆アラン・サルド

1998年 / フランス / 1時間57分 / カラー / スコープサイズ /  / 配給◆



Bunkamura 開館10周年特別企画

PLACE VENDÔME ヴァンドーム広場

1998年ヴェネツィア映画祭主演女優賞受賞 カトリーヌ・ドヌーヴ主演 監督:ニコール・ガルシア

出演:エマニュエル・セニエ/ジャック・デュトロン/ジャン=ピエール・バクリ

1998年/フランス/カラー/1時間57分/スコープサイズ/ DOLBY DIGITAL STEREO 配給:コムストック <http://www.rim.or.jp/~comstock>

カトリーヌ・ドヌーヴが魅せる、この秋一番豪華な大人のドラマ

華やかな宝飾界を舞台に、愛する男に裏切られた過去をもつ女が、自らの運命を狂わせたダイヤによって、再び輝きを取り戻していく。波乱の人生を生きる主人公マリアンヌを、カトリーヌ・ドヌーヴが圧倒的な美しさと気品で演じて、98年ヴェネツィア映画祭主演女優賞を受賞。女の脆さと強さ、繊細さと大胆さを、円熟した今だからこそ可能な演技で表現する。その美しさは、まるでブリリアント・カットのダイヤのように、高貴で硬質の輝きを放つ。ドヌーヴとダイヤのきらめきが重なり合う宝石のような映画、それが「ヴァンドーム広場」である。

ダイヤに翻弄された女の愛の行方

世界最高峰の宝飾店が立ち並ぶパリのヴァンドーム広場。愛した男に裏切られた過去が心に深い傷を残す、美貌の元宝石ディーラー、マリアンヌは、老舗宝石商の夫を事故で失い、未亡人となる。が、その死を不審に思い、夫が遺した最高級ダイヤの謎を追ううちに、昔の感覚がよみがえるとともに、自

らの人生、そして女として輝きを取り戻していく。やがて、その謎に絡むかつての男と対峙する運命の日が来るが…。

ダイヤの魅力と魔力

ダイヤは、昔から富と権力のシンボルとして崇められ、さまざまな争いの中心となってきた。その神秘的な魔性の輝きには、人の運命をも変えてしまうパワーがあり、ナポレオンやマリ=アントワネットは、あるダイヤが原因で、非業の死を遂げたともいわれる。この作品でも、その魅力に憑かれ、翻弄される人々のドラマが描かれる。マリアンヌの夫を死に至らしめたダイヤが、一方で、マリアンヌに輝きを与え、過去との折り合いをつけるために、かつての男に引き合わせる。すべてはダイヤの魔力が引き起こした運命なのだ。

「映画を撮る女優」ニコール・ガルシア

監督は、「愛と哀しみのポレロ」「ギャルソン！」などに出演、監督作品はこれが3作目とな

るニコール・ガルシア。自らの女優としてのキャリア、そして女性としての視点を生かし、カトリーヌ・ドヌーヴという希有な女優を得て、マリアンヌという女性像を細やかに鮮やかに描き出す。まさに、「映画を撮る女優」だからこそ描くことのできる女のドラマである。それはまた、二人の女優の幸運な出会いから生まれた結晶といえる。

光と影を映し出す俳優たち

野心的で魅力的な、若き日のマリアンヌを彷彿とさせる宝石ディーラー、ナタリー役に「赤い航路」のロマン・ポランスキー夫人、エマニュエル・セニエ。マリアンヌのかつての恋人、パティステリに、ミュージシャンでもあるジャック・デュトロン。ナタリーの元恋人で、マリアンヌに心魅かれようになるジャン=ピエールに、「恋するシャンソン」のジャン=ピエール・バクリ。ダイヤのように美しく輝く女たちと、その陰でうごめく男たちが、ヴァンドーム広場の光と影をドラマティックに映し出す。

9/3 (金)より 華麗にロードショー

特別鑑賞券 1,500円好評発売中 当日料金 1,800円 (税込)

連日 11:00 1:30 4:00 7:00

定員制・入替制

- お立ち見及び上映開始後のご入場はできません。
- 前日迄に混雑状況をご確認の上、お出かけ下さい。

Bunkamura 03
ル・シネマ (3477)
9264

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

NEC 日立 HITACHI 東京電行 TOKYU

